

我等一中

Ebetsu Daiichi J.H.S

江別第一中学校区 めざす子ども像（15の姿）
夢をいだき、仲間とともに

未来をひらく子ども

江別第一中学校 めざす生徒像

「夢・目標に向かって自ら学び、対話を通して仲間とともに成長する生徒」

令和 6年 5月 7日

この校長室だより「我等一中(われら いっちゅう)」は、不定期に発行します。江別第一中の生徒の皆さんが頑張っているところ、きらりと光っている様子、自慢ができるところを共有し、発信することが目的です。他の人の姿から、「なりたい自分」探しのお手伝いにもなれば、うれしく思います。

新入生とともに、新たな学校をつくる「挑戦」！



4月。新たな江別第一中学校がスタートしました。

4月6日始業式が行われ、1年進級した2・3年生の引き締まった表情を見ることができました。その後の入学式では、緊張した表情、希望に満ちた顔が見られる中、129名の1年生が入学しました。入学式では、生徒会役員と吹奏楽部員により、校歌が立派に披露されました。

4月12日の認証式では、各学級から意欲的に立候補した委員の皆さんのやる気に満ちた姿がありました。学校行事や、3月の卒業式で見てくれた卒業生の本気、迫力と凄みを受け継ぎ、新しい「挑戦」への意欲を感じました。

5月には、3年生修学旅行、そして全校での体育祭が行われます。生徒会の新しい学校づくりへの「挑戦」を楽しみにしています。おそれるな！

授業での対話場面を通した深い学び

全国の小学校中学校では、「主体的・対話的で深い学び」となる授業がすすめられています。深い学びとは、単に知識を覚えて増やすだけではなく、自分自身で考え、自らの人生につなげることができる学びのことを指します。

江別第一中学校でも、中学生にとって必要となる資質能力の育成のため、先生方が授業での「効果的な対話の場面」について、全員で研修をすすめています。自分の考えを持ち対話する中で、他の考えを理解し、自分の考えと比較することで、考えを修正したり新たな発見をすることが目的です。

今年度の「江別第一中学校区めざすこども像（15の姿）」「江別第一中学校 めざす生徒像」はタイトルの右側にありますが、「仲間とともに」「対話を通して」とあります。ぜひ、自分の考えを持ちながら、学級の仲間から多くの学びを得て、授業で確かな成長をしていくことを期待しています。

